

2020 第 1 回学連競技会の開催にあたって(新型コロナウイルス感染予防対策)

弊連盟では上記の大会において、公益財団法人日本陸上競技連盟の新型コロナウイルスの感染拡大防止のガイダンス、および運営協力をお願いしている一般財団法人大阪陸上競技協会が主催する大阪選手権で周知された資料等を参考に、下記の内容を作成しています。

安全、安心な大会運営を目指しますので遵守をお願いします。なお、守っていただけない場合は、参加(入場)を認めない、また参加(入場)していても競技場から退場していただくことがありますので、よろしくご理解、ご協力をお願いします。

【基本注意事項】

1. 無観客試合

- ・競技者、競技役員、学生審判・補助員、チームスタッフ（監督、コーチ、マネージャー）のみ入場可能です。
- ・クラスター感染を防ぐために、大学は各日、競技場内に入る者の名簿（別紙）を必ず代表者が提出してください。
- ・選手の保護者の応援は、感染症対策を講じて行うため入場はできません。
- ・マスコミの関係者は事前に関西学連に問合せを行い、本連盟が定める感染症対策を遵守する場合のみ入場を認めます。

2. 応援禁止

- ・チームスタッフが選手の指導等する場合は大声で行わない、また対人距離（ソーシャルディスタンス）を必ずとってください。

3. 「3密」の回避

- ・対人距離（ソーシャルディスタンス）を2m以上確保してください。撮影などをする場合も同様の対応をとってください。
- ・マスクの着用を徹底してください。（ただし、選手の競技中は除く）
- ・諸室は関係設備を運転し、窓・ドアを開放します。熱中症予防の観点から空調機等による温度調節を行います。

4. 感染症対策

- ・感染経路となりうる共有する物品やドアノブなど高頻度接触部位については、主催者において消毒しますが、参加者各人が注意し、接触後の手洗いを徹底してください。
- ・競技者、審判員、その他全て入場者は、こまめに手洗い・消毒を行ってください。手洗い場にはハンドソープ（ポンプ式）を準備します。
- ・競技終了後は手洗い・消毒を行ってください。
- ・ハンカチやマイタオルを持参してください。
- ・感染が疑わしい競技者には、その場で検温を実施し状況により参加を許可しません。

【大会参加について】

1. 競技者、チーム関係者には、所定の「体調管理チェックシート」の提出、検温を義務づけています。
2. 競技者・チーム関係者はウォーミングアップ開始にあわせて来場し、競技終了後は速やかに競技場を退出してください。
3. 下記に該当する場合は大会に参加（入場）を認めません。
 - ①「体調管理チェックシート」の提出がない
 - ②大会当日の朝の検温で 37.5℃を超え、強い倦怠感と息苦しさがある場合
 - ③発熱がなくても風邪の症状や体調不良がある者
 - ④同居家族や知人、友人に感染が疑われる人がいる場合

【競技場への入場について】

1. 競技者、チーム関係者の入場口は正面玄関に限定します。
ただし、8時半から9時20分の間は、密を避けるため、**競技者はゴール側の門で検温を実施いたします。対人距離（ソーシャルディスタンス）2m以上の間隔を空けて検温まで待機してください。**
2. 競技者、チームスタッフには検温後、ID を配布しますので競技場内では必ずつけておいてください。
3. 入場者は「大阪コロナ追跡システム」への登録のご協力をお願いします。
4. ID の無い者は競技場内への入場を認めません。

【招集所について】

1. 招集所では、並ぶ位置に一定距離を空けたマーカーを配置し、○付けのみで現地コールとします。
2. 腰ナンバーカードは**現地にて**各自でとってください（使い捨てで貼りつけ方式）
3. 競技者係はフェイスシールドを着用いたします。

【現地コールについて】

1. スタート待機所、フィールド待機所はソーシャルディスタンスを確保できる広さを確保し、審判員はフェイスシールドを着用いたします。

【番組編成について】

1. トラック競技は一度に多人数が集まらないように余裕をもった番組編成を行います。
2. 長距離種目に関しては、競技中の密をさけるため記録順の番組編成を行いません。

【給水について】

1. 給水を実施する際は、競技開始前に手指を消毒し、マスクフェイスシールド、手袋を着用して行います。
2. スポンジは使用しません。

【フィールド種目について】

1. 助走練習、投てき練習時に並ぶときは、対人距離（ソーシャルディスタンス）を確保してください。
2. 競技者同士の会話は極力避け、待機中はマスクの着用をしてください。
3. コーチがコーチ席から競技者に向かって話す際は、マスク着用の上、対人距離（ソーシャルディスタンス）を確保し、話すようにしてください。
4. 滑り止め(炭酸マグネシウム)については、パックに小分けして主催者が配布しますが、競技者が持参しても構いません。共用で使用してはなりません。

【記録について】

1. 記録掲示板前での滞留を避けるため、リザルトは記録掲示板に貼りだしません。
 2. リザルトは HP と電光掲示板にてお知らせしますが、電光掲示板での確認は、選手本人は競技終了後速やかに競技場から退出するように依頼していますので、大学スタッフが確認してください。
- 記録に関しての抗議は電光掲示での発表を正式発表とし、そこから 30 分以内に行うこと

【更衣室に関して】

1. 一度に多人数が使用しないように、張り紙及び監督者を置き、滞在時間は短時間となるよう指導します。一度に使用できる人数は 10 人までとなります。
2. 換気扇を常に作動させ、窓を開放します。なお、シャワーの使用は禁止とします。

【各大学の待機場所・集合について】

1. 競技者は基本的に競技に合わせて来るので、大学としての待機場所については基本的には設けてはなりません。
2. ミーティング等は、競技場内、競技場周辺等いかなる場所においても禁止します。

【その他】

1. 競技終了後、全ての箇所（机、いす、パソコンなど）を清掃、消毒します。
2. 競技終了後、全ての競技用機材（スターティングブロック、投てき物、バトンなど）を消毒します。
3. 競技開始前の審判打ち合わせは実施しません。
(伝達事項は HP または、役員室のホワイトボードに記載)

4. 参加者は大会後、症状が4日以上続く場合は、必ず最寄りの自治体の衛生部局と大会主催者（関西学連）に報告してください。
5. 混成控室は設けません。
6. ゴミは各自ビニール袋に入れて持ち帰ってください。競技場内全てのごみ箱は撤収します。
7. 集団練習はせず、2m以上のソーシャルディスタンスを空けて練習を行ってください。
8. 怪我、病気の応急措置については検温を再度した上で医師、看護師等医療従事者が対応しますが、急病による発熱と感染症による発熱の区別がつかない場合には別途その場にいる医療従事者と相談して対応を行います。